第33講
産業革命・アメリカ独立革命

1 産業革命

イギリス産業革命の時期は1800年プラスマイナス30年。1770年～(1)〔　　〕年の(2)〔　　〕・(3)〔　　〕間の鉄道開通までということだ。

【イギリス産業革命の背景】(4)〔　　〕年は(5)〔　　〕戦争の(6)〔　　〕条約。イギリスはフランスから(7)〔　　〕・(8)〔　　〕を獲得またスペインから(9)〔　　〕を獲得した。**北米とインドにおけるイギリスのフランス・スペイン・オランダにたいする優位が確定した年**が1763年だ。

16世紀以降のイギリス資本の蓄積(ちくせき)は奴隷貿易や毛織物マニファクチュアによるもの。また国内の豊富な資源，さらに原料供給地・販売市場としての植民地を有した。17世紀以降は市民革命による経済の自由化やギルドの解体が進んだ。18世紀半ばの(10)〔　　〕, たとえば(11)〔　　〕（四輪作農法，大麦→クローヴァー→小麦→かぶ）のような農業技術の変化は(12)〔　　〕運動を生み，(13)〔　　〕（独立自営農民）は都市へ出て賃金労働者となり産業革命の労働力となった。

【産業革命の展開】産業革命とは道具による生産から機械による生産への転換であり，また動力の転換のことだ。だから1811年から(14)〔　　〕（機械打ち壊し運動）が起こる。

産業革命はまず**木綿(もめん)工業**から始まった。**インド＝キャラコ（木綿）の需要の増大は従来の毛織物業界にとっては打撃**であった。**議会は1700年にインド＝キャラコの輸入を，1720年に使用を禁じた。**

(15)〔　　〕年に(16)〔　　〕が飛びおさ（飛び杼(ひ)）を発明し織布(しょくふ)の作業能率は倍加したが，このことが原料の綿糸(めんし)不足を招き紡績部門の一連の発明を促した。

(17)〔　　〕機（**ハーグリーヴズ**）→(18)〔　　〕機（**アークライト**）→(19)〔　　〕機（**クロンプトン**）→(20)〔　　〕（**カートライト**）→(21)〔　　〕（**ホィットニー・米国**）。とりわけミュール紡績機こそイギリス産業革命の偉業(いぎょう)である。糸の細さがインド＝キャラコを抜いたのだ。イギリスの木綿をインドに売ることが可能になった。マンチェスターで織った木綿製品をリヴァプール港からインドへ売る。これこそが産業革命のエッセンス。つまり**イギリス産業革命とはインド木綿という外圧にたいするイギリス産業界のレスポンス**（返答），木綿の輸入代替(だいたい)産業を興すための努力ということになる。マンチェスターに資金が集まる。以上が**繊維(せんい)革命**だ。

解答

（1）1830　（2）マンチェスター　（3）リヴァプール　（4）1763
（5）フレンチインディアン　（6）パリ　（7）カナダ
（8）ミシシッピ川以東のルイジアナ　（9）フロリダ　(10) 農業革命
(11) ノーフォーク農法　(12) 第2次囲い込み　(13) ヨーマン　(14) ラダイト運動
(15) 1733　(16) ジョン＝ケイ　(17) 多軸(たじく)（ジェニー）紡績　(18) 水力紡績
(19) ミュール紡績　(20) 力織機(りきしょっき)　(21) 綿繰り機(わたくりき)

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【動力革命→交通革命】 水力から蒸気(じょうき)機関に動力は移行する。18 世紀初期に (22)〔　　〕が蒸気力による排水用ポンプを発展させていたが (23)〔　　〕がこれを改良し原動機としての (24)〔　　〕を 1781 年に完成した。

工業の発展は石炭・原料・製品を大量に輸送する交通機関の発達を促した。1814 年 (25)〔　　〕は実用 (26)〔　　〕を発明。（1804 年にレールを走る蒸気機関車は (27)〔　　〕が発明。）1825 年に (28)〔　　〕間で試験走行。(29)〔　　〕年には (30)〔　　〕間で営業運転。馬車から鉄道の時代にはいった。

解答

（22）ニューコメン　（23）ワット　（24）蒸気機関　（25）スティーブンソン
（26）蒸気機関車　（27）トレヴィシック　（28）ストックトン～ダーリントン
（29）1830　（30）マンチェスター～リヴァプール

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2 アメリカ独立革命

【大航海時代】ヨーロッパ人が「地理上の発見」と呼んだ事業の背景には学術の進歩があり，イタリア人 (1)〔　　〕の地球球体説などがその代表だ。また，ヨーロッパ諸国が東洋との直接交渉を望んだこともその要因だ。(2)〔　　〕出身の (3)〔　　〕はスペイン女王 (4)〔　　〕の援助を受け (5)〔　　〕年にスペインの (6)〔　　〕港をカラベル船サンタ＝マリア号で出航，(7)〔　　〕に到着。1493 ～ 1504 年まで 3 回渡航し中南米海岸まで到達。その影響で (8)〔　　〕とその部下が 1519 ～ 22 年にかけて世界一周した。

フィレンツェ生まれの (9)〔　　〕は 1497 年以来 4 回にわたって特に中南米を探検，航海報告書をメディチ家へ送った。16 世紀初ドイツ人 (10)〔　　〕が『世界誌入門』のなかで“アメリカ”と命名した。

【価格革命と商業革命】ヨーロッパ列強の植民地(しょくみんち)獲得抗争(こうそう)が展開した。アメリカ銀が大量に流入したので貨幣価値が下落，物価は約 3 倍に騰貴(とうき)した。このような (11)〔　　〕が，南ドイツの銀を独占していた (12)〔　　〕家や銀の流入によるインフレーションが固定地代に依存していた封建領主層を没落させた。また (13)〔　　〕という (14)〔　　〕変化を導いた。

【コンキスタドール】スペインの (15)〔　　〕は (16)〔　　〕年に (17)〔　　〕帝国の首都 (18)〔　　〕を征服し，また (19)〔　　〕は (20)〔　　〕年にペルーを征服し (21)〔　　〕帝国を滅ぼした。(22)〔　　〕年に (23)〔　　〕が発見されるとインディオやのちにアフリカ人奴隷が酷使された。植民者が国から**先住民の教化と保護を条件に土地・住民の統治を委託(いたく)され賦役労働を課す**のが (24)〔　　〕，スペインの聖職者 (25)〔　　〕がインディオへの布教と奴隷化防止に尽力した。その著作が**『インディアスの破壊についての簡潔(かんけつ)な報告』**。しかしこれにより西アフリカからの黒人奴隷の流入が加速した。

ポルトガルの (26)〔　　〕は (27)〔　　〕年の (28)〔　　〕にもとづき，1500 年 (29)〔　　〕を獲得，経営方針はスペインとほぼ同じだった。

解答

（1）トスカネリ　（2）ジェノヴァ　（3）コロンブス　（4）イサベル　（5）1492
（6）パロス　（7）サン＝サルバドル　（8）マゼラン　（9）アメリゴ＝ヴェスプッチ
（10）ミューラー　（11）価格革命　（12）フッガー　（13）商業革命
（14）ヨーロッパ商業圏の重心がヴェネツィア，ジェノヴァなど地中海からリスボン，セビーリャ，アントワープなど大西洋岸に移る　（15）コルテス　（16）1521　（17）アステカ
（18）テノチティトラン　（19）ピサロ　（20）1533　（21）インカ　（22）1545
（23）ポトシ銀山　（24）エンコミエンダ制　（25）ラス＝カサス　（26）カブラル
（27）1494　（28）トルデシリャス条約　（29）ブラジル

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

オランダは1621年に西インド会社を設立，ギアナ，西インド諸島を経営した。(30)〔　　〕年には(31)〔　　〕流域に(32)〔　　〕と(33)〔　　〕を建設したが，(34)〔　　〕年の第２次(35)〔　　〕戦争で喪失した。

【イギリス】1497年には(36)〔　　〕の命令でイタリア人(37)〔　　〕が(38)〔　　〕を探検。16世紀後半には国王(39)〔　　〕と(40)〔　　〕が(41)〔　　〕に進出したがまもなく放棄。次の国王(42)〔　　〕の1607年にヴァージニア会社がジェームスタウンを建設。こうして(43)〔　　〕植民地が誕生。1619年にヴァージニア議会が置かれた。

新大陸進出は太平洋進出とインド貿易が目的だった。同王の(44)〔　　〕年には(45)〔　　〕と呼ばれる(46)〔　　〕((47)〔　　〕教徒(きょうと))が(48)〔　　〕で(49)〔　　〕から出帆(しゅっぱん)し(50)〔　　〕植民地を建設。また少し後の1629年には(51)〔　　〕植民地が(52)〔　　〕の町とともに建設される。これらの植民地がまとまって，いわゆる(53)〔　　〕を形成した。そこにおいては，信仰の自由，経済の自由を希求し，参政権をもつ全住民参加の(54)〔　　〕という制度があった。1636年には(55)〔　　〕に牧師養成のための(56)〔　　〕が設立された。

1664年には第２次英蘭戦争において(57)〔　　〕を占領し(58)〔　　〕と改名,1681年には(59)〔　　〕教徒(60)〔　　〕が(61)〔　　〕植民地を建設。1732年の(62)〔　　〕植民地をもって(63)〔　　〕の植民地が完成した。各植民地にイギリス議会政治の伝統にならって設けられた住民代表からなる議会を(64)〔　　〕という。

【フランス】1534年以降カルティエが新大陸を探検，1603年の国王(65)〔　　〕のとき(66)〔　　〕が(67)〔　　〕川流域を探検し1608年(68)〔　　〕（川の挟まる地）の要塞を築きニューフランスの基礎を築きビーバーの毛皮貿易の拠点とした。

ルイ14世のときには(69)〔　　〕が(70)〔　　〕川をくだって(71)〔　　〕植民地が形成されることになる。植民地の性格としては王室の直接支配で，カトリックが多く，移住者の大部分は毛皮取引が目的の大商人や宣教師であった。メキシコ湾河口に建設されたのが(72)〔　　〕だ。

解答

(30) 1626　(31) ハドソン川　(32) ニューネーデルラント植民地
(33) ニューアムステルダム　(34) 1664　(35) 英蘭　(36) ヘンリ７世
(37) カボット父子　(38) ニューファンドランド　(39) エリザベス１世
(40) ウォルター＝ローリ　(41) ヴァージニア　(42) ジェームズ１世　(43) ヴァージニア
(44) 1620　(45) ピルグリム＝ファーザーズ　(46) ピューリタン　(47) 清(せい)
(48) メイフラワー号　(49) プリマス　(50) プリマス　(51) マサチューセッツ
(52) ボストン　(53) ニューイングランド植民地　(54) タウンミーティング
(55) ボストン　(56) ハーバード大学　(57) ニューアムステルダム　(58) ニューヨーク
(59) クウェーカー　(60) ウィリアム＝ペン　(61) ペンシルヴェニア
(62) ジョージア　(63) 13　(64) 植民地議会　(65) アンリ４世　(66) シャンプラン
(67) セントローレンス　(68) ケベック　(69) ラサール　(70) ミシシッピ
(71) ルイジアナ　(72) ニューオーリンズ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第２次英仏百年戦争】新大陸における英仏の抗争は，1689～97年の(73)〔　　〕戦争（これは欧州における(74)〔　　〕戦争と並行），つぎの1702～13年の(75)〔　　〕女王戦争（(76)〔　　〕戦争と並行）と展開した。後者においては(77)〔　　〕年の(78)〔　　〕で(79)〔　　〕，(80)〔　　〕，(81)〔　　〕をイギリスはフランスから獲得した。さらに1744～48年まで，欧州の(82)〔　　〕戦争と並行して(83)〔　　〕戦争，(84)〔　　〕戦争に並行して(85)〔　　〕戦争，後者の(86)〔　　〕でイギリスは(87)〔　　〕，(88)〔　　〕を獲得した。これら新大陸における４つの戦争は(89)〔　　〕（(90)〔　　〕年～(91)〔　　〕年）の前半戦といえる。

イギリスの内政干渉はフランス・スペインほどではなかった。前述のように北部では(92)〔　　〕という直接民主政の地方自治が，南部では(93)〔　　〕というイギリス的代議制(だいぎせい)があった。1639年にはのちの憲法の基礎となった**コネティカット基本法**が制定された。

経済面ではプリマスを中心とした**ニューイングランド地方**では，漁業・造船・海運・毛皮取引・(94)〔　　〕の製造など。南部では1619年にはじめて黒人年季奉公人(ねんきほうこうにん)が(95)〔　　〕州に移入され(96)〔　　〕という産業の形態が発達していた。品目は米・藍(あい)・(97)〔　　〕など。

【アメリカ独立革命】イギリス本国の植民地統治政策はいわゆる(98)〔　　〕主義政策でそれはオランダ対策の1651年の(99)〔　　〕にはじまって，1699年の羊毛品法，1732年の帽子法，1733年の(100)〔　　〕，1750年の鉄法を実施しつつ，王領植民地を増加させるなどして漸次(ぜんじ)政治的圧力を強化した。

とりわけ(101)〔　　〕戦争が終結した(102)〔　　〕年には国王(103)〔　　〕が(104)〔　　〕山脈以西への白人の移住を禁止する宣言を出したり，1764年の(105)〔　　〕，65年の(106)〔　　〕が出されると，植民地側は反動化しヴァージニア決議によって英国製品不買(ふばい)協定を結ぶ。背景には新大陸における(107)〔　　〕の勢力が著しく減退したので本国の保護が不要になったことがある。(108)〔　　〕らは“No taxation without representation (109)〔　　〕”と主張して1766年**印紙法は撤廃**された。1767年には制裁(せいさい)規定や歳入(さいにゅう)法や関税局の設置や海事裁判所の拡充(かくじゅう)の４法を定めた(110)〔　　〕諸法が発令するも1770年には(111)〔　　〕税のみ残して廃止された。

解答

(73) ウィリアム王　(74) ファルツ　(75) アン　(76) スペイン継承　(77) 1713
(78) ユトレヒト条約　(79) ニューファンドランド　(80) アカディア
(81) ハドソン湾地方　(82) オーストリア継承　(83) ジョージ王　(84) 七年
(85) フレンチインディアン　(86) パリ条約　(87) カナダ
(88) ミシシッピ川以東のルイジアナ　(89) 第２次英仏百年戦争　(90) 1689
(91) 1815　(92) タウンミーティング　(93) カウンティ制　(94) ラム酒
(95) ヴァージニア　(96) プランテーション　(97) タバコ　(98) 重商
(99) 航海法　(100) 糖蜜法(とうみつほう)　(101) 七年　(102) 1763　(103) ジョージ３世
(104) アパラチア　(105) 砂糖法　(106) 印紙法　(107) フランス
(108) パトリック＝ヘンリ　(109) 代表なくして課税なし　(110) タウンゼンド
(111) 茶

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

これらが独立革命の間接的要因であるならば，1770 年の英兵によるボストン虐殺事件のあとの (112)〔　　〕年の (113)〔　　〕((114)〔　　〕) が直接的要因であり，これは本国にとっては立法権の侵害，イギリス本国の一部東インド会社の私有財産の侵害としてうけとられた。本国は (115)〔　　〕港の閉鎖 (116)〔　　〕州の自治権剥奪などの五つの法を定めたので，(117)〔　　〕年には (118)〔　　〕で第１回 (119)〔　　〕が開催され，植民地人の権利が宣言された。

【独立戦争】(120)〔　　〕年に (121)〔　　〕の戦いをもって (122)〔　　〕が始まった。「我に自由を与えよ，しからずんば死を与えよ。」はパトリック＝ヘンリの有名なセリフだ。第２回大陸会議で (123)〔　　〕が植民地軍総司令官に任命された。植民地人の態度は独立を志向する Patriots ((124)〔　　〕派) と独立を志向しない Royalist ((125)〔　　〕派) と中立派に分かれた。(126)〔　　〕が『(127)〔　　〕』というパンフレットで“分離”の意義を説いたので，独立を支持するものが増えた。

1776 年 6 月 22 日の (128)〔　　〕で人間に本来備わっている (129)〔　　〕が宣言された。

(130)〔　　〕年 (131)〔　　〕月 (132)〔　　〕日に (133)〔　　〕や (134)〔　　〕を発明した (135)〔　　〕が起草した (136)〔　　〕が (137)〔　　〕でなされた。

1777 年の (138)〔　　〕の戦いをへて 78 年 (139)〔　　〕のヨーロッパ派遣によって (140)〔　　〕との同盟が成立し，79 年には (141)〔　　〕が，80 年には (142)〔　　〕が参戦，同時期 (143)〔　　〕が提唱した (144)〔　　〕が成立して，イギリスの外国船圧迫にたいして独立軍を支援することになる。フランスの (145)〔　　〕や (146)〔　　〕，ポーランドの (147)〔　　〕が義勇兵として参加。81 年の (148)〔　　〕の戦いで植民地側の勝利が決定的になった。(149)〔　　〕年 (150)〔　　〕で合衆国の独立は承認され，(151)〔　　〕をイギリスは (152)〔　　〕に割譲，合衆国のニューファンドランドの漁業権とミシシッピ川の航行の自由を承認した。またセネガルと西インド諸島を (153)〔　　〕に，(154)〔　　〕と (155)〔　　〕をイギリスは (156)〔　　〕に割譲した。(厳密にはヴェルサイユ条約，たいていパリ条約に含める)

解答

(112) 1773　(113) ボストン茶会事件　(114) Boston Tea Party　(115) ボストン
(116) マサチューセッツ　(117) 1774　(118) フィラデルフィア　(119) 大陸会議
(120) 1775　(121) レキシントン＝コンコード　(122) アメリカ独立戦争
(123) ジョージ＝ワシントン　(124) 愛国　(125) 忠誠(ちゅうせい)　(126) トマス＝ペイン
(127) コモン＝センス　(128) ヴァージニア権利章典　(129) 自然権　(130) 1776
(131) 7　(132) 4　(133) トマス＝ジェファソン　(134) 避雷針(ひらいしん)
(135) ベンジャミン＝フランクリン　(136) 独立宣言　(137) フィラデルフィア
(138) サラトガ　(139) ベンジャミン＝フランクリン　(140) フランス　(141) スペイン
(142) オランダ　(143) ロシアのエカテリーナ２世　(144) 武装中立同盟(ぶそうちゅうりつ)
(145) ラファイエット　(146) サン＝シモン　(147) コシューシコ　(148) ヨークタウン
(149) 1783　(150) パリ条約　(151) ミシシッピ川以東のルイジアナ　(152) 13 植民地
(153) フランス　(154) フロリダ　(155) ミノルカ島　(156) スペイン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第33講　テスト

1　父が製鉄燃料を木炭からコークスにかえたコークス製鉄法を開発し,子が技術を発展させたのは。

①　トインビー

②　ダービー

③　カボット

④　フルトン

2　イギリス産業革命関連都市のうち誤っている組み合わせは。

①　ロンドン — ワット，アダム＝スミス

②　マンチェスター — 綿工業

③　リヴァプール — ビートルズ，奴隷貿易

④　バーミンガム — 製鉄業

3　13植民地の建設順序で3番目にくるものは。

①　ジョージア

②　ヴァージニア

③　ペンシルヴェニア

④　マサチューセッツ

4　1777年に13植民地により起草された合衆国初の成文憲法と1774年に開催された大陸会議を起源とする合衆国の立法府の組み合わせとして適切なものは。

①　アメリカ連合規約 — アメリカ連邦政府

②　アメリカ連合規約 — アメリカ連邦議会

③　ヴァージニア権利章典 — アメリカ連邦政府

④　ヴァージニア権利章典 — アメリカ連邦議会

5　以下の事象を正しく並べかえ3番目にくるものは。

①　サラトガの戦い

②　ヨークタウンの戦い

③　レキシントン・コンコードの戦い

④　独立宣言

第33講　テスト解答

1　②　　2　①　　3　③　　4　②　　5　①

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。